



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

上場取引所 札

上場会社名 日本グランデ株式会社
 コード番号 2976 URL <http://www.nippon-grande.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 平野 雅博
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 矢代 俊二 (TEL) 011-211-8124
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	238	—	△59	—	△66	—	△42	—
2019年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △42百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△41.80	—
2019年3月期第1四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2019年3月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年3月期第1四半期の数値、対前年同四半期増減率及び2020年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,484	1,261	23.0
2019年3月期	5,095	1,205	23.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 1,261百万円 2019年3月期 1,205百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	5.00	5.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,425	8.0	364	7.4	333	5.0	218	7.0	195.20

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2020年3月期(通期)の1株当たり当期純利益は、2019年6月18日で払込が完了した公募による新株式数(150,000株)を含めた期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー 社(社名) 、除外 ー 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	1,150,000株	2019年3月期	1,000,000株
2020年3月期1Q	ー株	2019年3月期	ー株
2020年3月期1Q	1,021,429株	2019年3月期1Q	ー株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、2019年3月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善し、個人消費や設備投資の持ち直しが継続するなど、緩やかな回復基調で推移しました。米中の貿易摩擦問題など、依然として様々な景気減速リスクが内在しており、その先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する不動産業界におきましては、競争激化によるマンション及び戸建住宅用地の値上がり、職人不足等の要因による建築費の上昇等により、今後の事業環境については楽観視できない状況にあります。

このような状況の中、当社グループの主力事業である不動産分譲事業では、当第1四半期連結累計期間において、新築分譲マンション及び分譲戸建住宅の引渡がないことから、既存竣工物件による分譲マンション2戸及び分譲戸建住宅1戸の引渡となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は238,837千円、営業損失は59,387千円、経常損失は66,473千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は42,699千円となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(不動産分譲事業)

分譲マンション事業におきましては「グランフェール」シリーズ、分譲戸建住宅事業におきましては「エステティカ」シリーズの引渡により、売上高は114,007千円となりました。その他として、不動産仲介事業、リフォーム事業等による売上高は3,120千円となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業におきましては、サービス付き高齢者向け住宅の「グランウエルネス」シリーズと賃貸マンション等の賃貸料収入は82,250千円となりました。その他として、サービス付き高齢者向け住宅支援サービス事業等による売上高は13,840千円となりました。

(不動産関連事業)

マンション管理事業におきましては、顧客の満足度向上に努め、分譲マンション及び賃貸マンションの管理による売上高は20,490千円となりました。その他として、火災保険等の保険代理店事業、設計監理事業、業務委託斡旋事業等による売上高は5,126千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて388,665千円増加し、5,484,117千円となりました。このうち流動資産は、前連結会計年度末に比べて199,275千円増加し、2,609,874千円となり、固定資産は、前連結会計年度末に比べて189,389千円増加し、2,874,242千円となりました。流動資産の主な増加の要因は、仕掛販売用不動産の増加446,850千円であり、主な減少の要因は現金及び預金の減少145,129千円、売掛金の減少5,082千円及び販売用不動産の減少98,774千円であります。固定資産の主な増加の要因は、有形固定資産の増加164,923千円及び投資その他の資産の増加24,594千円であります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて332,860千円増加し、4,222,469千円となりました。このうち流動負債は、前連結会計年度末に比べて611,070千円増加し、2,034,293千円となり、固定負債は、前連結会計年度末に比べて278,209千円減少し、2,188,176千円となりました。流動負債の主な増加の要因は、買掛金及び工事未払金の増加375,035千円、1年内返済予定の長期借入金の増加602,399千円、その他の増加57,733千円、主な減少の要因は、短期借入金の減少328,000千円及び未払法人税等の減少98,211千円であります。固定負債の主な減少の要因は、長期借入金の減少268,952千円及びその他の減少9,360千円であります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて55,805千円増加し、1,261,648千円となりました。主な増加の要因は、株式上場に伴う公募増資を実施したことにより、資本金及び資本剰余金がそれぞれ51,750千円増加したこと及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により利益剰余金が47,694千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年6月19日の「札幌証券取引所アンビシャスへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	850,510	705,381
売掛金	7,458	2,376
販売用不動産	272,136	173,361
仕掛販売用不動産	1,213,839	1,660,690
その他のたな卸資産	9,954	10,259
その他	56,699	57,805
流動資産合計	2,410,598	2,609,874
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,804,720	2,156,827
土地	598,558	598,558
建設仮勘定	240,034	48,420
その他（純額）	8,356	12,786
有形固定資産合計	2,651,669	2,816,593
無形固定資産	1,330	1,202
投資その他の資産	31,852	56,446
固定資産合計	2,684,853	2,874,242
資産合計	5,095,451	5,484,117

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金及び工事未払金	139,546	514,581
短期借入金	328,000	—
1年内返済予定の長期借入金	618,185	1,220,584
未払法人税等	98,898	686
賞与引当金	2,713	4,826
その他	235,879	293,613
流動負債合計	1,423,222	2,034,293
固定負債		
長期借入金	2,365,285	2,096,333
役員退職慰労引当金	22,876	22,979
その他	78,224	68,863
固定負債合計	2,466,386	2,188,176
負債合計	3,889,608	4,222,469
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	151,750
資本剰余金	—	51,750
利益剰余金	1,105,871	1,058,176
株主資本合計	1,205,871	1,261,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△28	△28
その他の包括利益累計額合計	△28	△28
純資産合計	1,205,842	1,261,648
負債純資産合計	5,095,451	5,484,117

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	238,837
売上原価	145,718
売上総利益	93,118
販売費及び一般管理費	152,505
営業損失(△)	△59,387
営業外収益	
受取利息及び配当金	5
受取手数料	128
補助金収入	605
その他	458
営業外収益合計	1,197
営業外費用	
支払利息	7,568
金利スワップ評価損	249
その他	464
営業外費用合計	8,283
経常損失(△)	△66,473
税金等調整前四半期純損失(△)	△66,473
法人税等	△23,773
四半期純損失(△)	△42,699
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△42,699

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△42,699
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	0
その他の包括利益合計	0
四半期包括利益	△42,698
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△42,698

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年6月19日に札幌証券取引所アンビシャス市場に上場いたしました。上場にあたり、2019年6月18日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式の発行150,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ51,750千円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本金は151,750千円、資本剰余金は51,750千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 分譲事業	不動産 賃貸事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	117,128	96,091	25,617	238,837	—	238,837
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	2,258	2,258	△2,258	—
計	117,128	96,091	27,875	241,095	△2,258	238,837
セグメント利益又は損失(△)	△45,313	49,744	491	4,922	△64,310	△59,387

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△64,310千円には、セグメント間取引消去△2,258千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△62,052千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。